Museum Calendar
2009.4〜2010.3

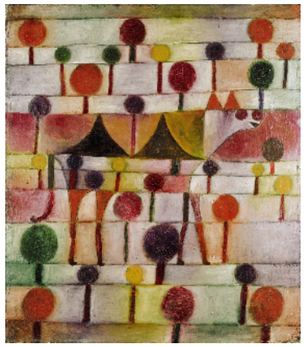
※●は、休館日となります。

特別展

ドイツ、ノルトライン=ヴェストファーレン州立美術館所蔵
20世紀のはじまり　ピカソとクレーの生きた時代
Masterpieces of Kunstsammlung Nordrhein-Westfalen

4月10日（金）〜5月31日（日）

ドイツ西部の商工業都市デュッセルドルフにあるノルトライン=ヴェストファーレン州立美術館の所蔵品による本展は、ピカソとクレーの名品を中心に、厳選された23作家64点の作品で20世紀前半のモダン・アートの流れをたどります。

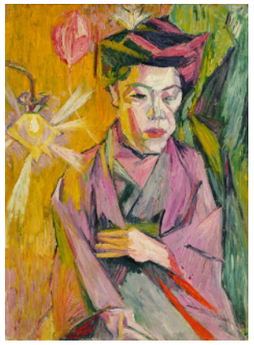


パウル・クレー《リズミカルな森のラクダ》1920年
©Kunstsammlung Nordrhein-Westfalen, Düsseldorf / Photo: Walter Klein, Düsseldorf

躍動する魂のきらめき―日本の表現主義
岸田劉生、萬鉄五郎、東郷青児、恩地孝四郎…
Expressionist Movements in Japan

6月23日（火）〜8月16日（日）

大正時代の日本には、内面の感情や生命感を表した個性的で力強い芸術表現が生まれました。本展では、この熱き時代の芸術を、洋画、日本画、彫刻、版画、写真、工芸、デザイン、建築など、約350点の作品によって紹介します。



萬鉄五郎《風船をもつ女》1912年 岩手県立美術館蔵

だまし絵
アルチンボルドからマグリット、ダリ、エッシャーへ
Visual Deception

8月26日（水）〜11月3日（火・祝）

だまし絵とは、視覚のトリックを巧みに利用して見る者の目をあざむく仕掛けをもった作品です。本展では、16世紀から現代までに生み出された古今東西の作品によってバラエティ豊かなだまし絵の世界を紹介します。

ジュゼッペ アルチンボルド《ウェルトゥムヌス（ルドルフ2世）》
1590/91年 スコークロステル城蔵

トトロの森を描いた人
ジブリの絵職人　男鹿和雄展
Kazuo Oga Exhibition

12月8日（火）〜2010年2月7日（日）

1月17日に阪神・淡路大震災から15周年を迎えるのを機に、震災からの「文化の復興」のシンボルである当館では、「となりのトトロ」など数多くのスタジオジブリ作品で背景美術の監督を手がけてきた男鹿和雄（1952- ）のやさしく心温まる作品約600点を紹介します。

「となりのトトロ」背景画 1988年
©1988 二馬力・G

小倉遊亀展
Yuki Ogura, Retrospective

2010年2月18日（木）〜4月4日（日）

豊かな色彩と力強い造形で身近な人物や静物を生き生きと描き出した日本画家、小倉遊亀（1895-2000）の没後10年を記念して開催します。初期から晩年までの代表作約80点を展示し、明治から平成までおよそ80年にわたる創作活動を紹介します。　協力：滋賀県立近代美術館

《姉妹》1970年 滋賀県立近代美術館蔵

コレクション展（常設展）

コレクション展Ⅰ　3月28日（土）〜7月12日（日）

特集　**風景画に親しむ**
Introduction to Landscape Painting

美術のひとつのジャンルとして大きな位置を占めてきた風景画。特集展示では、この「風景画」という視点から近・現代の収蔵品（絵画・写真・彫刻）を選び、その典型例から多様な変化までを「眺める」ことにします。

須田国太郎《工場地帯》1936年

コレクション展Ⅱ　7月25日（土）〜11月29日（日）

小企画　**美術の中のかたち―手で見る造形**
Form in Art―Touch and Sense the Piece

藤本由紀夫　黄昏―薄明かりの展覧会―
Yukio Fujimoto : twilight - exhibition obscura -

毎年恒例の本展では、視覚優位になりがちな美術鑑賞のあり方を乗り越えることを目指してきました。
今回は、「みる」ということを改めて問い直すことをテーマに、藤本由紀夫（1950- ）の企画構成による展示を行います。

《TIME（tottori）》2008年

特集　**新収蔵品紹介**
New Acquisitions

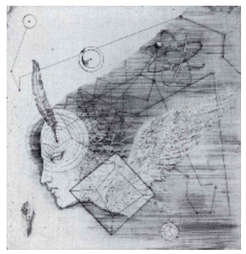
40年近くにわたって収集してきた当館のコレクション。この1年に新たに仲間に加わった作品を主役にご紹介します。あわせて、作品の制作された時代背景を様々な視点から探ります。

水越松南《春日》1917年
（会期中、一部展示替えを行います。）

コレクション展Ⅲ　12月12日（土）〜2010年3月14日（日）

小企画　**山本六三展**
Mutsumi Yamamoto Retrospective

神戸の地で独自の頽廃美に彩られた幻想的作品を作り続けた山本六三（1940-2001）。本展は、代表的な銅版画約40点に作者秘蔵の油彩画約10点を加え、異端の作家の全貌に迫ります。
なお、当館の所蔵品から代表的な名作をピックアップした「コレクション名品選」を併せて開催します。



吉田一穂詩集《白鳥》飾画 1973年

2009県展
8月8日（土）〜22日（土）　会場◆原田の森ギャラリー
兵庫県下で美術制作に励む方々の発表の場として続いてきた公募展です。会場は原田の森ギャラリーです。

●入賞作品展
8月25日（火）〜30日（日）　会場◆当館ギャラリー

神戸ビエンナーレ2009　10月3日（土）〜11月23日（月・祝）
気鋭の現代美術作家展などを当館ギャラリー棟で開催します。

コレクション展（常設展）
当館では、前身である近代美術館時代から約35年にわたり、国内外の彫刻、版画とともに、兵庫県にゆかりのある作家を中心に、日本の近現代の美術作品を収集してきました。
「こども」や「親子」でも楽しめる内容で３期に分け、毎回200点を超える選りすぐりの収蔵作品の展示により、ご家族そろって楽しんでいただけます。

小企画
時代背景や傾向を見つめ、美術の役割を考える、学芸員の企画による当館ならではの展示です。

特集
所蔵作品から回顧展やテーマ性をもった展示を企画し、特徴ある作家や作品を重点的に紹介します。

※　展覧会の内容、名称、会期は都合により変更することがあります。